

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
1. 図書館の基本的なサービスー				
1-ア-①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。	継続実施	・図書、雑誌、AV、電子書籍、DBの選定を行い、過不足なく予算執行する。 ※DBの詳細は、3-(2)-イ-①、3-(3)-イ-①に記載 ・電子書籍の収集方針案を作成する。
1-ア-②		蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。	継続実施	各サービスグループにおいての課題を集約し、継続して見直しを検討する。
1-ア-③		視聴覚資料の積極的な収集に努めます。	継続実施	AV資料の購入について適切に予算執行する。
1-ア-④		展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	展示を行う(本館：一般、児童展示各5回以上、公津の杜分館：一般、児童展示各5回以上)
1-イ-①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。	継続実施	・継続して、貸出・閲覧サービスを実施する。 ・貸出傾向について研究を行う。
1-イ-②		レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	・継続して、レファレンスサービスを実施する。 ・質の向上を目指し研究を行う。
1-ウ-①	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	・「広報なりた」に図書館講座、おはなし会の広報及び読書週間に合わせ図書館利用促進特集を掲載する。 ・電子書籍の利用促進のPRを行う。
1-エ-①	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	公津の杜での導入について需要も含め調査を行う。	インターネットコーナーの利用状況およびデータベースの需要について調査を行う。
2. 利用者層ごとのサービス-(1)乳幼児・保護者-				
2-(1)-ア-①	おはなしかい	今後も実施を継続します。	継続実施	継続して、「0・1歳のおはなしかい」「2・3歳のおはなしかい」を実施する。
2-(1)-ア-②		回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	回数・曜日・時間等の変更について試行する。	「0・1歳のおはなしかい」「2・3歳のおはなしかい」を曜日・時間等を変更して試行する。
2-(1)-イ-①	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。	継続実施	継続して、ブックリスト「あかちゃんも絵本が大好き」「絵本が大好き - 2・3歳 -」「絵本が大好き - 4・5歳 -」の配布を実施する。
2-(1)-イ-②		配布場所については追加を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)
2-(1)-イ-③	ブックリスト配布	内容については適宜見直し、改訂を行います。	「あかちゃん」「2・3歳」ブックリストを見直し、改訂を行う。	「あかちゃんも絵本がだいすき」の内容を見直し、改定する。
2-(1)-ウ-①	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	2023 (R5) 年度終了	目標達成済
2-(1)-ウ-②		赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	継続実施	・継続して、ブックスタート絵本読み聞かせ事業を実施する。 ・ブックスタート事業や絵本の受取について周知を行う。
2-(1)-エ-①	セカンドブック	実施に向けて検討します。	2026 (R8) 年度の実施に向けて検討する。	ブックスタート事業の取り組みで明らかになった課題を整理し、具体的な計画を立案する。
2-(1)-オ-①	館内託児サービス	実施に向けて検討します。	他自治体の先進事例の収集を行う。	先進事例について調査し、報告書をまとめる。
2-(1)-カ-①	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	継続実施	・子育て応援コーナーについて、資料の利用状況を調査する。 ・資料の入れ替えを行う。
2-(1)-カ-②		国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	継続実施	児童コーナーにおいて、資料の配布を継続する。

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
2-(1)-キ-①	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施	・継続して、団体貸出を実施する。 ・運用規定について、見直しを行う。 ・利用案内を作成する。
2-(1)-キ-②		今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	市内の園等での読書活動の実態調査を行う。	市内の園等に、読書活動に関するアンケート調査を実施し、取りまとめを行う。
2-(1)-ク-①	乳幼児向け閲覧スペースの設置	転んだり、ぶつかったりしても怪我をしない床材や建具等の導入を検討します。	おはなし室の内装の改善を検討する。	おはなし室の修繕について見積もりを取り、2025 (R7) 年度予算に計上する。
2-(1)-ケ-①	施設・設備のバリアフリー化	ベビーカーで来館できる駐車場の整備等、施設のバリアフリー化を図ります。	駐車場の周知を行う。	ベビーカーで来館できる駐車場の周知についての手段を検討する。
2-(1)-コ-①	授乳室等の設置	専用スペースの設置に向けて検討します。	館内サインについて検討する。	授乳スペースの案内を館内に設置する。
2. 利用者層ごとのサービス-(2) 小学生・中学生-				
2-(2)-ア-①	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	継続して、ブックリスト「ばんざいいちねんせい」「いいほんみつけた1,2ねんせい」「いいほんみつけた3,4年生」「いいほんみつけた5,6年生」「いいほんみつけた中学生」を最新版に更新し配布する。
2-(2)-イ-①	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	本館のヤングアダルト(青少年)コーナーの設置についての検討と合わせて、中学生向け書架について改定を検討する。	ヤングアダルト(青少年)担当と協議し、「いい本みつけた! 中学生」書架(じどうYA)の名称改訂や選定資料の方向性について検討する。
2-(2)-ウ-①	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	継続して、常設展示5回以上及び季節や行事に応じた展示を実施する。
2-(2)-エ-①	おはなしかい	今後も実施を継続します。	継続実施	継続して、土曜日のおはなしかい、季節のおはなしかい等を実施する。
2-(2)-エ-②		子どもたちの参加意欲促進に努めます。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2-(2)-オ-①	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	科学あそび講座等の児童向け講座を実施する。
2-(2)-オ-②		中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向けの図書館講座について実施を検討する。	中学生を対象とした講座の企画案を作成する。
2-(2)-カ-①	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施	・継続して、学校訪問おはなし会を実施する。 ・職員及びボランティアのスキルアップのため、研修を実施する。
2-(2)-カ-②		回数や実施方法について検討します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2-(2)-キ-①	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。	継続実施	「絵本の読み聞かせ講座」を実施する。
2-(2)-ク-①	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施	町探検の受入れを実施する。
2-(2)-ケ-①	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施	・職場体験の受入れを実施する。 ・職場体験の実施マニュアルを作成する。
2-(2)-コ-①	読書に困難を感じている子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。 サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	収集方針、収集・提供方法、保管場所を検討する。	2-(6)-エ-①に含める。
2-(2)-サ-①	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
2-(2)-シ-①	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2-(2)-ス-①	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	継続実施	・継続して団体貸出を行う。 ・運用規定について見直しを行う。 ・GIGAスクール構想の一環として、タブレット端末で電子書籍サービスを提供する。
2-(2)-ス-②		団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	計画立案 団体貸出等図書館資料の配送体制について、モデル校での試行等を検討する。	学校との図書館資料の配送体制の整備について、担当課と協議する。
2-(2)-セ-①	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	学校図書館司書、司書教諭等を対象とした研修会を実施する。
2. 利用者層ごとのサービス-(3) 青少年-				
2-(3)-ア-①	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	本館にヤングアダルト(青少年)コーナーを設置する。	本館にヤングアダルト(青少年)コーナーを設置する。
2-(3)-イ-①	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	継続実施	ヤングアダルト(青少年)向けの資料を継続して収集する。
2-(3)-ウ-①	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。	コーナー設置に合わせて検討する。	本館のヤングアダルト(青少年)コーナーに、学習スペースを設置する。
2-(3)-エ-①	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2-(3)-オ-①	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	継続実施	ヤングアダルト(青少年)向けのイベントを開催する。
2-(3)-カ-①	学校との連携	市内中学校、義務教育学校、高校、大学、専門学校等との連携について調査研究を行います。	2024 (R6) 年度対象外 (R9年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R9年度開始)
2-(3)-キ-①	活動の場の提供(メイカースペース)	事例の調査研究を行います。 必要な設備品の整備を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)
2-(3)-ク-①	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2. 利用者層ごとのサービス-(4) 成人-				
2-(4)-ア-①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-イ-①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。 レファレンスサービスを継続して実施します。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
2-(4)-ウ-①	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-エ-①	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (2) ビジネス支援 (3) 法情報に記載
2-(4)-オ-①	活動の場の提供 (メイカースペース)	事例の調査研究を行います。 必要な設備品の整備を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)
2-(4)-カ-①	健康・医療情報サービス	詳細は第4章3. (1) 【健康・医療情報】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (1) 健康・医療情報に記載	
2-(4)-キ-①	ビジネス支援サービス	詳細は第4章3. (2) 【ビジネス支援】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (2) ビジネス支援に記載	
2-(4)-ク-①	法情報サービス	詳細は第4章3. (3) 【法情報】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (3) 法情報に記載	
2. 利用者層ごとのサービス-(5) 高齢者-				
2-(5)-ア-①	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施	継続して収集する。
2-(5)-ア-②	資料の収集、提供	電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。	2024 (R6) 年度対象外	2023 (R5) 年度で調査・検討終了 2024 (R6) 年度対象外
2-(5)-イ-①	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	他市の状況を調査する。	2023 (R5) 年度の調査をもとに引き続き情報収集し、報告書としてまとめる。
2-(5)-イ-②		連携方法について調査研究を行います。	他市の状況を調査する。	他自治体の事例を調査し、報告書としてまとめる。
2-(5)-ウ-①	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2-(5)-エ-①	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	2023 (R5) 年度の調査をもとに引き続き情報収集する。	利用者等へアンケートを実施しニーズ調査を実施する。
2-(5)-エ-②		出張図書館等の連携事業を検討します。	昨年度の調査をもとに引き続き情報収集する。	2-(5)-エ-①に含める。
2-(5)-オ-①	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。	事例調査・及び研究を行い、報告書を作成する。	庁内外で高齢者の生きがいや学習支援につながる講座等の情報を収集し、ミニ展示やちらし配布等を通じて図書館利用者に情報提供する。
2-(5)-オ-②		講座の開催を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)
2-(5)-カ-①	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
2-(5)-キ-①	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)
2. 利用者層ごとのサービス-(6) 図書館利用に障がいのある人-				
2-(6)-ア-①	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施	新規録音図書を15点製作し、国立国会図書館へデータ提供する。
2-(6)-ア-②	録音図書の製作	所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。	継続実施	カセット資料120巻分のDAISY図書への変換作業を実施する。
2-(6)-イ-①	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	収集方針、収集・提供方法、区分、保管場所を検討する。	マルチメディア図書を購入し、提供方法について検討する。
2-(6)-ウ-①	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施	音訳協力者養成講座を6回実施する。

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
2-(6)-エ-①	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	提供開始	りんごの棚設置に伴う資料を収集し、提供方法を検討する。2-2-(コ)-①を含む。
2-(6)-オ-①	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	提供開始	心身障害者用ゆうメールのサービスを開始する。
2-(6)-カ-①	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。	2023 (R5) 年度終了	目標達成済
2-(6)-カ-②		サイン計画を立て、館内サインを作成します。	館内サインの見直しを計画、実施する。	・サインの改善を実施する。2-(6)-コ-②、2-(7)-エ-③を含む。 ・サインのバリアフリー化の実施に必要な費用を調査する。
2-(6)-キ-①	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	利用案内や目録の送付を実施する。
2-(6)-ク-①	対面朗読	事例の調査研究を行います。	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)
2-(6)-ケ-①	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外（大規模改修決定以降、再始動） ※調査は2023 (R5) 年度で終了
2-(6)-コ-①	合理的配慮の提供の推進	講座・イベント時の手話通訳等の配置を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)
2-(6)-コ-②		館内のサイン・案内等の改善を図ります。	館内サインの見直しを計画、実施する。	2-(6)-カ-②に含む。
2-(6)-コ-③		コミュニケーション手段を確保します。	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)
2. 利用者層ごとのサービス-(7) 多文化-				
2-(7)-ア-①	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	継続実施	多言語資料の収集を行い、課題を報告する。
2-(7)-ア-②		ニーズに沿った選定の方法を検討します。	ニーズに沿った選定・購入・受入・データ管理方法を検討する。	2023 (R5) 年度に作成した手順に沿って、英語以外の自館作成MARCを作成する。
2-(7)-ア-③		電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	継続実施	継続して、電子書籍の多言語資料の収集を行う。
2-(7)-イ-①	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	多文化理解に役立つ資料について研究・調査を行う。	継続して、日本に関する多言語資料を収集する。
2-(7)-ウ-①	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	継続して、日本語学習・検定の資料を選定し購入する。
2-(7)-ウ-②		選定方法を見直し、購入手法を検討します。	見直しに沿った日本語学習、検定資料の選定・受入方法を実施する。	店頭見計らいを計画、実施する。
2-(7)-エ-①	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	英語以外の言語の利用案内を作成する。	韓国語の利用案内を作成し、提供する。
2-(7)-エ-②		やさしい日本語の利用案内の作成を検討します。	やさしい日本語の利用案内を作成し、提供する。	2023 (R5) 年度に作成した案をもとに、やさしい日本語の利用案内を作成・提供する。
2-(7)-エ-③		館内の案内を見直します。	館内の多文化用案内を見直し、改善する。	2-(6)-カ-②に含む。

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
2-(7)-オ-①	関係機関との連携	関係機関を案内する体制と資料を揃えます。	案内内容や定期的な資料の収集方法について、調査・計画立案する。	多文化支援に関わる機関を調査し、リスト化する。
2-(7)-カ-①	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。 多言語資料の提供について検討します。	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料について研究し、報告書を作成する。	市内の教育機関の情報を収集する。
3. 市民の課題を解決するサービス-(1) 健康・医療情報-				
3-(1)-ア-①	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	継続実施	2023 (R5) 年度に検討した選書方法に沿い、継続して選書を行う。
3-(1)-イ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。	2022 (R4) 年度終了	目標達成済
3-(1)-イ-②		関係機関等の情報をコーナーに排架し、提供します。	継続実施	2023 (R5) 年度に検討した書架管理方法に沿い、継続して実施する。
3-(1)-イ-③		信頼性の高い資料を、入門から専門的な情報へと深めるように排架し、情報を求めている層に最適化した書架構成を検討します。	継続実施	2023 (R5) 年度に検討した資料の更新・管理方法に沿い、継続して実施する。
3-(1)-イ-④	利用者がアクセスしやすい書架の整備	闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	整備方針を定める。	闘病記コーナーの書架管理を行う。
3-(1)-ウ-①	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
3-(1)-エ-①	出張図書館の実施	市内病院や医療系大学等と連携し、関係機関が開催する市民向けの講座への出張図書館を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)
3. 市民の課題を解決するサービス-(2) ビジネス支援-				
3-(2)-ア-①	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	継続実施	継続して資料の収集研究を行う。
3-(2)-イ-①	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	選定したデータベースの予算要求を行う。	ビジネス支援用データベースについて2025 (R7) 年度の予算として計上する。
3-(2)-ウ-①	利用促進	事例調査及び研究を行います。	継続実施	継続してビジネス支援サービスに関する研修に参加する。
3-(2)-ウ-②		ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
3-(2)-エ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
3-(2)-オ-①	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	継続実施	ヤングアダルト(青少年)を対象とした就業に関する講座を実施する。
3-(2)-カ-①	相談会の実施(会場・資料提供)	事例調査及び研究を行います。	継続して情報収集する。	講師とのコネクションを構築する。
3-(2)-カ-②		中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。	継続して情報収集する。	講師とのコネクションを構築する。

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
3-(2)-キ-①	出張図書館の実施	商工団体のイベントや成田市産業まつり等に出張図書館を行い、ビジネス支援を広報するとともに、司書のレファレンスを含めたサービスの利用促進を図ります。	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)
3. 市民の課題を解決するサービス-(3) 法情報-				
3-(3)-ア-①	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	継続実施	継続して資料の収集研究を行う。
3-(3)-イ-①	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	新たなデータベースについて、4月2日に提供を開始し利用促進をする。	展示や掲示等を行う。
3-(3)-ウ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	事例調査及び研究を行い、法情報コーナーの新設を検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R7年度開始)
3-(3)-ウ-②		パスファインダーを作成し、配布します。	法情報に関するパスファインダーを作成する。	初心者のための法情報に関するパスファインダーを作成する。
3-(3)-エ-①		ニーズ調査を実施します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
3-(3)-エ-②	講座、セミナーの開催	データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
3-(3)-オ-①	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
3-(3)-オ-②		出張図書館や相談員と協働した推薦図書リストの作成等、法情報や判例資料の活用・提供について検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R9年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R9年度開始)
4. 地域資料を活用するサービス-(1) 地域資料-				
4-(1)-ア-①	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	継続実施	継続して、資料収集を行う。
4-(1)-ア-②	地域資料の収集、提供	今後も、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	継続して、電子化されている資料を含め、航空関係資料を収集する。
4-(1)-ア-③		行政資料の収集を継続します。	継続実施	継続して、行政資料を収集する。
4-(1)-イ-①	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	継続実施	継続して、成田市関係新聞記事をデータベース化して公開する。
4-(1)-イ-②		地域資料のデジタル化を進めます。	地域の事典(成田の地名と歴史データベース)の公開に向け準備を行う。	新図書館システムで稼働させるため、業者と打ち合わせを行い、公開の仕様に合わせて校正作業を進める。
4-(1)-イ-③		デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化した資料の公開に向けて、問題点の検討を行う。	2023 (R5) 年度に整理した問題点の対処法を検討する。

2024/4/1作成、2024/7/17改訂
成田市立図書館サービス計画 2024 (R6) 年度事業計画
成田市立図書館

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
4-(1)-ウ-①	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	市制施行70周年記念市史講座を実施する。
4-(1)-エ-①	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施	継続して、市史展示を実施する。
4-(1)-オ-①	関係機関との連携	各方面に働きかけを行い、どのような連携を図ることができるか検討します。	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)	2024 (R6) 年度対象外 (R8年度開始)
4-(1)-カ-①	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。 今後の方向性を検討します。	継続実施	「成田市史研究」49号を発行する。
5. 地方自治を支えるサービス-(1) 行政支援-				
5-(1)-ア-①	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	継続実施	継続して、新規採用職員第1次研修で講義を実施する。
5-(1)-ア-②	市職員への利用案内	業務に役立つ資料の紹介、研修に関連する資料の展示等を計画し、実施します。	市職員への利用案内を実施する。	課メール等を利用した周知を行う。
5-(1)-イ-①	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。	入力方法をマニュアル化する。 広報などの手段を含む職場の受付体制についてもまとめる。	・調達予定のレファレンス・講座管理システムの構築時に、行政向けレファレンスサービスを考慮して運用を検討する。 ・行政レファレンスの事例の受付数を調査する。
5-(1)-イ-②		有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。	継続実施	研修以外でのレファレンス紹介について検討する。
5-(1)-ウ-①	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	貸出手段について検討する。	継続して担当課と協議する。
5. 地方自治を支えるサービス-(2) 学校図書館支援-				
5-(2)-ア-①	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。 団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス(2) 小学生・中学生の再掲	
5-(2)-ア-②		今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス(2) 小学生・中学生の再掲	
5-(2)-イ-①	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス(2) 小学生・中学生の再掲	
5-(2)-ウ-①	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。	2. 利用者層ごとのサービス(7) 多文化の再掲	
5-(2)-ウ-②		多言語資料の提供について検討します。	2. 利用者層ごとのサービス(7) 多文化の再掲	

2024/4/1作成、2024/7/17改訂
成田市立図書館サービス計画 2024 (R6) 年度事業計画
成田市立図書館

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
5. 地方自治を支えるサービス-(3) 議会図書室との連携-				
5-(3)-ア-①	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	レファレンスサービスの利用案内を実施する。	議会図書室と連携し、議会図書室が発行する新着図書案内等でレファレンスサービスの利用促進を行う。
5-(3)-ア-②	議員へのレファレンスサービスの実施	議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。	担当課と協議を継続する。	物流の手順を担当課と協議する。
5-(3)-イ-①	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	資料の整理支援を開始する。	議会図書室が所蔵する資料の整理について協議する。
5-(3)-イ-②		議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。	担当課と協議を継続する。	議会図書室と連携して成田市議会会議録の保存状況を確認し、デジタル化に向けた支援のため協議する。
5. 地方自治を支えるサービス-(4) 行政資料室との連携-				
5-(4)-ア-①	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	担当課と協議を継続する。	行政資料室から保存年限切れ地域関連資料を移管し、資料収集について協議する。
5-(4)-イ-①	行政資料室での行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	5. 地方自治を支えるサービス(1) 行政支援の再掲	
6. 図書館サービスを支える電算システム-				
6-ア-①	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	システムの機能向上について検討します。	業者選定 図書館システム更新(3月)	2月に図書館電算システム更新し、3月から新システムを稼働する。
6-ア-②		ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	予算要求	更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
6-イ-①	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	2022 (R4) 年度終了	目標達成済
6-イ-②		本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。	予算要求	設置に向けた予算要求を行う。
6-ウ-①	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	実施	2月の図書館電算システム更新時に、ポータブルプリンタを導入する。
6-ウ-②		本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	実施	2月の図書館電算システム更新時に、本館へ自動返却仕分け機を導入する。
7. 職員の育成-				
7-ア-①	継続的な司書の確保と計画的な措置	継続的に司書の確保に努めます。	継続実施	司書の人員確保を計画的に人事課に要求する。
7-ア-②		司書の研修マニュアルを作成します。	マニュアルを更新する。	既存のマニュアルを整理し、必要な項目の一覧をまとめる。
7-ア-③		専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続実施	レファレンス業務を補助なく行えるように、計画的に新任職員の研修を行う。
7-イ-①	職員の資質・能力の向上	長期的な計画を立てて、計画的な職員育成をはかります。	継続実施	担当となった分野の研修に参加する。

通番	検討する事項	取組内容	2024 (R6) 実施目標	2024 (R6) 達成基準
8. 施設・設備等				
8-ア-①	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。	継続実施	・ 予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。 ・ 発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。 ・ 利用者の利便性を高める取り組みについて検討する（2-(1)-ケ-①を含む）。
8-ア-②		施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。	2027 (R9) 年末までに蛍光灯の製造が廃止されることを見据え、将来的な館の運営に支障を来たすことがないよう、保有する在庫の管理を適切に行える仕組みの基礎を築く。	管理方法を記した文書や管理表の整備を行う。
8-イ-①	居場所としての機能向上	滞在できる空間づくりを検討します。	ヤングアダルト(青少年)コーナーの新設に伴い、館内の閲覧席の配置について検討する。	2-(3)-ア-①に含める。
8-イ-②		グループ学習や図書館資料を利用したミーティングができる環境づくりを検討します。	本館にヤングアダルト(青少年)コーナーを設置する。	2-(3)-ア-①に含める。
8-ウ-①	本館の閲覧席増加	閲覧席の増加について検討します。	ヤングアダルト(青少年)コーナーの新設に伴い、館内の閲覧席の配置について検討する。	2-(3)-ア-①に含める。
8-エ-①	本館の所蔵可能点数増加	公開書架。書庫等の所蔵可能点数増加について検討します。	書庫の図書所蔵可能点数を増やす。	スタジオ内の資料を整理し、市史資料をスタジオ内に移動することで、書庫の図書資料の所蔵点数を増やす。
8-オ-①	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外
8-カ-①	全域サービス網整備	全域サービス網の整備を計画的に進めます。	2024 (R6) 年度対象外	2024 (R6) 年度対象外